

(1)

小田高同窓会 会報『八幡山』第34号

令和4年12月10日



## 第34号

神奈川県立小田原高等学校  
同窓会 檻友会

発行者 会長 吉川伸治  
編集者 広報委員会  
委員長 原田泰隆

住所 〒250-0045  
小田原市城山3-26-1  
電話・FAX. 0465-20-3281  
メールアドレス  
kenyukai@odako.org

題字:大島修穂(雅文)さん(高32) 背景:檳林と上庭の写真



## 2023年度 檻友祭(小田高ホームカミングデー)／総会

期日：2023年5月14日(日)

会場：小田原高校

■檻友会(小田高ホームカミングデー)：各校内施設

同期会やクラス会、部OB会などの同時開催を歓迎します。

■同窓会総会：視聴覚教室

※上記は現在計画中です。確定次第、檻友祭のホームページ  
(<https://odako.info/>) でお知らせします。

コロナ禍の中、母校に帰る

# 総会・桜友祭（小田高ホームカミングデー）

5月8日（日）、新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を徹底し、総会と桜友祭の催事を予定通り実施しました。

積極的なPRを控えざるを得ない状況の中、228名のご参加をいただき、各催事はそれぞれ盛況でした。八幡山トーカ・八幡山コンサートを「デオ収録し、桜友祭HPに貴重な動画記録を掲載。「コロナ禍でも工夫を凝らし、やるべきことはやる」桜友会の基本方針を体現することができました。



コロナ禍のなかご来場ありがとうございます



吉川会長と24回卒の皆さん



吉川会長

◆卒業後の節目を祝う…開会式  
開会式では卒業後10年毎の節目を迎えた高24回卒業の方々に吉川伸治同窓会長（高23）から記念の小田高絵葉書を贈呈。常任幹事の高木裕一氏（高24）のほか、出席されていた同期出席者の皆さんに受け取っていただきました。

◆丁寧かつ円滑に…同窓会総会  
吉川会長と中島良光校長にご挨拶いただき、副会長を務められ退任せられた関野純一氏（高23）を表彰。河鍋章氏（高33）を議長に選出し、以下の議事を進行しました。  
(1)4月23日開催の常任幹事会審議結果（令和3年度会務報告・事業報告、同一般会計決算、財産台帳・会計監査結果、令和4年度事業計画・一般会計予算、常任幹事会議事録）について会長から報告  
(2)翌年の総会開催日を5月14日（日）に決定

出席者の質問に会長と各担当が丁寧に答えつつ円滑に進行し、予定期間に終了しました。



関野さんお疲れ様でした



中島校長

◆企画展と連携…八幡山トーカ  
総会に引き続いて講演会を開催。講師は石井敬士氏（史料委員会副委員長・高11）。テーマは校史展示

◆同期の共演：八幡山コンサート  
小田高吹奏楽部で時間を共にし、東京藝術大学で共に学んだ原田博之氏（バリトン・高40）と市川景之氏（ピアノ・高40）が、30余年の月日を経て、初めて本格的に共演。  
「詩と音楽の織りなす世界」と題し、演奏とトークでお二人がずっと魅せられてきた「詩情」の世界を見事に表現されました。



講師の石井氏 史料を映し出す仮野史料委員会委員長

室企画展と連携する「ご卒業百年記念、閑院宮が学ばれた小田原中学」。閑院宮を中心に、当時の先生方と生徒たちの活躍や御手植えの松はじめとする様々な記念樹も紹介されました。

豊富な写真を交え、母校の基盤が形成された時期の模様がわかりやすく説明され、史料としても貴重な内容でした。

樺友祭HPに動画を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ありがとうございました。  
また、動画収録作業に高40同期生（小島琢、藤原正一郎、山口一哉）三氏の応援をいただきました。  
樺友祭HPに高音質の動画を掲載しましたので、ぜひご覧ください。



同期生も拍手



初共演



御手植えの松の幹を保存

◆母校の基盤形成期を展示：企画展  
校史展示室の企画展は「ご卒業百年記念、閑院宮が学ばれた小田原中学校」を開催。

前述の八幡山トーキーの説明のもととなつた史料を次のような項目立てで展示。

4. 3. 2. 1. 八幡山の新校舎
- 閑院宮のご修学
- 先生方と生徒たちの活躍

◆青春の思い出：窓梅会資料室  
南館3階入り口にある城内高校窓会・窓梅会の資料室を本年も公開していただきました。

小田高卒業生にも城内高校には青春の思い出は多いようで、昔話に花を咲かせる光景も見受けられました。

コロナ禍にも拘わらず、「女子中等教育の貴重な資料が多い窓梅会資料室の公開をぜひお願いしたい」との無理なお願いを受け入れてくださったことを感謝いたします。



熱心に見学



母校の今を見学

◆欠かせぬ定番：キャンパスツアー  
毎年人気のキャンパスツアー。  
参加者数は13名。多目的教室・図書館などを事前に開録してくださったので、円滑に実施できました。

コロナ禍で生徒がガイドを担当できず仮野史料委員会委員長（高31）のガイドで実施ましたが、現在の小田高を一番よくわかっているのは生徒なので、来年度は生徒のガイドを期待したいと思います。



思い出話？

特に記念樹については、令和3年10月に閑院宮御手植えの松（ご卒業記念樹）がマツノザイセンチュウに枯れ、伐採を余儀なくされたので、今後このようなことを防止するよう願ってその一部を展示し、母校の歴史を物語る記念樹を解説する小冊子「小田高の記念樹等一覧」も発行しました。



記念樹を熱心に見学、右手前は閑院宮春仁王殿下御手植えの松

◆小田高PTAも  
初参加  
…グッズ販売  
記念史や従来の  
桜友会グッズに加  
え、今回は事前に  
小田高PTAと協  
議し、PTA制作  
の小田高グッズも



桜友会グッズ販売

◆活況…グループ参集企画  
同期や部活の仲間が集うグループ  
参集企画。本年はコロナ禍?と思え  
るほど盛況でした。  
まずは担当同期会の高24同期会が

明治天皇第六皇女・常宮殿下御手植えの公孫樹、閑院宮春仁王殿下御手植えの松 創立二十周年記念樹ザクロ、「櫻林」のシラカシ、県指定天然記念物の樹叢、ホイットマン高校交流記念樹ハナミズキなどについて現地で仮野史料委員会委員長（高31）に由来を説明していただきまし



パネル展示

◆経済界篇：同窓生パネル展示  
今年も経済界で活躍する次の方々

販売しました。  
キーホルダーなど同窓会にはない  
品がそろい、元気な掛け声もあり、  
賑わいに花を添えていただきました。

のパネル展示を行  
いました。  
山口學（高16）、  
山本忠人（高16）、  
瀬戸薰（高18）、  
磯崎功典（高24）、  
掬川正純（高30）、  
長坂嘉昭（高34）、  
福井泰代（高36）、  
樋口敦士（高47）  
展示内容を掲載  
した小冊子も配布  
しました。



PTAグッズ販売



多様な展示

◎24期男子の作品展示  
木彫や絵画を展示しました。



比奈の会展示



OG6の演奏

◎リコーダー楽団演奏会  
24期のメンバーもいるリコーダー  
楽団「OG6」の演奏を行いました。

そのほかの参加は次の通りです。  
◎高27同期会

◎高32同期会  
来年度同期会の打ち合わせを実施。

◎高40同期会  
同期の集合と「寺子屋スクールⅡ」の展示を実施。



◎高31同期会  
ロック演奏とと思い出史研究会の展示を実施。



ロック演奏



展示



開催に向けて打合せ

#### ◆自己紹介

私は小田高時代、映画部でハミリ映画製作に没頭していました。大学時代（日藝映画学科）も、しばらくは映画部の後輩の指導のため、百段坂を上って旧堅葉館に通っていました。小田高祭の前日に顧問の宮本信乃先生のマンショனをお借りして、みんなでアフレコ作業をしたのは懐かしい思い出です。

卒業後、映像音響機器メーカーの関連会社に勤務しましたが、公共性建築物の設計施工の部署に在籍した時に小田高新校舎建設工事の設計施工に携わることになりました。それが縁で（「お前は視聴覚室に詳しいからイベント開催に便利」と言う理由？）同窓会の役員に誘われました。

#### ◆収録の実際

桜友祭の準備は半年ほど前から始まります。催事の内容に合わせた撮影

影プランを考え、必要な機材を選択します。

桜友祭開催直前にプロ用機材のレンタル業者から機材を借ります。今年の桜友祭ではリモコンカメラシステムやカメラを切替えるスイッチャー、三脚等を借りました。

前日には会場にケーブルを仮設し機材をセットしますが、動かない。

写らない等のトラブルが発生し対処に苦労します。今年はリモコンカメラをステージと客席に5台設置

## 桜友祭余話



和やかに

ご共催いただいた母校の全面的な協力をはじめ、各催事関係者、運営にご協力いただいた方々及びご賛いたいただいた同窓生など、すべての関係者に感謝申し上げます。

桜友祭実行委員長  
蛭田克美（高15）



舞台両側にリモコンカメラ

視聴覚室後方の調整室でカメラのパン・ティルト・ズームの操作をします。スイッチャーで任意のカメラを選び年録画します。このシステムはケーブル

パン・ティルト・ズームの操作をします。スイッチャーで任意のカメラを選び年録画します。このシステムはケーブル

モコンカメラ以外にも数台の家庭ビデオカメラを設置して後日の編集用素材として録画しています。

カメラのリモコンやスイッチヤー操作は、昨年は放送部の現役生がいました。今年は八幡山コンサートに出演の田さん・市川さんと同期の40回生人が、未経験にも係わらず、いい映像を撮ってくれました。

◆編集作業

桜友祭が終わると編集作業が始まります。録画した素材（動画ファイル）や講演会のパワーポイント素材をPC上に並べて切り貼りし、曲名等の文字スーパーを入れていきます。今年は不要部分のカットや音声の加工が多くつたので手間がかかりました。

20年前は非常に高価な専用機が必要だったノンリニアビデオ編集も今はPC（パソコン）でできるようになり隔世の感があります。

◆動画のアップロード

同窓会ホームページへの動画アップロードはその道に詳しい方が同窓会にいらっしゃるのでも、動画ファイルを

◆編集作業

今年は八幡山コンサートに出演の原田さん・市川さんと同期の40回生の人が、未経験にも係わらず、いい映像を撮ってくれました。



調整室

メールに添付して送信すれば私の作業は終了です。

思い起こせば私の小田高時代は小田高祭で仲間たちと作った映画を視聴覚準備室のハミリ映写機で上映するのが楽しみでした。時が経ち今まで視聴覚準備室で今度はビデオ撮影をしている・・・

50年経ったけれどなんだか同じようなことをしているな、不可思議な気持ちになります。

令和4年4月30日、22名のご参加をいただき、第9回櫻友ウォーキングを実施しました。当日の模様を杉本リーダー(高19)の文と佐野さん(高19)(S)・津田委員(高27)(T)の写真で報告します。



直鶴駅に集合 (T)

当企画は当初3月26日に催行の予定でした。が、あいにくの空模様で当日は催行不能になりました。そのまま中止にしてしまうには惜しいという意見がありましたので、参加を表明されていた方々に緊急のメール。皆さんのご意見を参考に4月30日に延期して実施すると決まりましたが、またしてもこの期日も再び雲行きが怪しくなってきました。一週間前から再びお天気

皆さん、日頃の行いがとてもよろしいのか当日はすっかりスッキリと晴れました。



山の神社 (T)

「岬入り口」で下車。ウォーキングが開始です。すぐに「山の神社」の小さな祠があります。「山」と名前になりますが、この祠は漁師さん達にお祀りされているのだそうです。この辺りはすでに「お林」の中。「角付き保安林」としての機能がうかがえます。この辺りから、「お林」の中へと登って行きました。



### 急斜面を登る (T)

真鶴半島の森は「原生林」ではないのだそうです。明暦の大火による木材需要の高まりで幕命により小田原藩によつて松苗（クロマツ）の植林がされたのが始まりだとのことです。

第9回 檻友ウォーカー

「無事に催行できました」



このあと予定では三石海岸に降りてゆくつもりでした。が、参加



「ケープ真鶴」前広場 (T)

山中の「お林」を抜け遊歩道に出、与謝野晶子の歌碑、幕末の砲台跡にある「ケープ真鶴」の広場から小田原方面や伊豆の島々眺めました。



何だろう? (T)



移動前に集合写真 (S)



大塚ガイド (T)

者の歩みが予想外に進まず、250段の石段を上り下りするのは少し…。とのことで、大塚ガイドの英断。ここはバス。で、中川一政美術館と復元されたアトリエに向かいました。



木漏れ日 (S)



中川一政美術館 (T)

美術館とアトリエでは若くて美人の学芸員にお世話になりました。中川画伯は絵画の専門的な勉強をされなかつたそうです。素人のままで展覧会に出した風景画でいきなり銀賞を受賞。岸田劉生にいたく褒められたということですが、実際にその絵を見て私には何が上手なのかサッパリ分かりません。画伯の絵画や書が数多く展示された規模は小さいけれどお林の中の静かで雰囲気の良い美術館です。

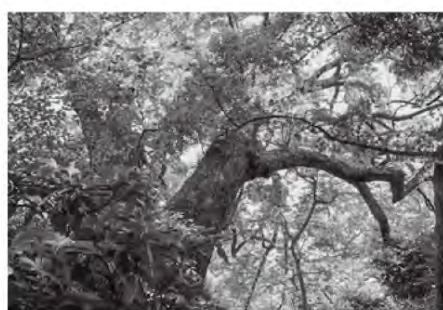
交流委員会

この日のウォーキングはこれにて終了。アトリエの外は昔のサボテン園。芝生が敷き詰められミニゴルフを楽しむ人たちが大勢居ました。



アトリエ (T)

隣のアトリエはその部屋だけを移築復元したものです。中川画伯はアトリエで死の直前まで制作に励まれていらっしゃったとのこと。その絵は美術館に展示されています。



新緑の大樹 (S)



三ツ石を望む (S)

**第12回 小田高自然環境フォーラム**

# 自然環境と私たち



伊澤紘生（高10）氏



伊澤紘生（高10）氏の「ヒトの目、動物の目」（サルから学んだこと）

伊澤（高10）氏はサル研究のため昭和43年から宮城県と青森県、43年から石川県と三つのフィールドで調査研究してきた。また外国ではアマゾンでの調査を30年以上も行つてきたり、これらサルとの付き合いの積み重ねを通して、サルの群れにボスはない。リーダーもない。役割分

小田高生物部OB会は「桜友会」と共催で6月26日集会館ホールにおいて自然環境フォーラムを開催した。同時に資料委員会委員長の仮野慎一（高31）氏の案内で希少種剥製標本も公開した。今回のフォーラムの話題提供者は宮城のサル調査会の伊澤紘生（高10）氏、湘南・省エネネットワークキングの前島仁氏・おだわらイノシシネットの川島範子氏の3名であった。

①話題提供



前島仁氏の「気候変動とその影響」

②話題提供



川島範（紀）子（高29）氏

○自然環境フォーラムへ生物部OB野川島範（紀）子（高29）氏の「ホンジカ調査とくくり罠捕獲」

内容は「大津波で甦った花ミズアオイを守る」と題され、その内容は、平成23年3月11日、東日本大震災で岩手県大槌町は巨大な津波で町は壊滅したが、この地でミズアオイが芽し再生した記録である。

生物部OB 磯崎三好（高8）



角こすり被害



富士山南嶺 シラビソの樹皮食い

箱根山中におけるシカの被害と「くくり罠捕獲」についてのその実情を語り、美しい箱根山地や丹沢の山々を守つていきたいと力説された。シカが増えすぎて困っている所は、箱根に近い所で富士山周辺、伊豆半島全域、丹沢一帯と広範囲で大変深刻なことである。対策が望まれる。

(1)気候変動問題 (2)脱炭素社会の到来と課題 (3)国の脱炭素計画 (4)脱炭素社会に向けての私たちの取り組みについて細かい資料に基づいて解説された。脱炭素社会の実現には、国も自治体も私たちの暮らし方も幅広く議論していく必要を感じた。

担当ないし順位序列も血縁性もない話された。日本各地に餌付けされ観光資源として公開されている野猿公苑しか知らない私には相当のズレを感じた。

担当ないし順位序列も血縁性もない話された。日本各地に餌付けされ観光資源として公開されている野猿公苑しか知らない私には相当のズレを感じた。

# 令和4年度（2022）企画展

# 閑院宮が学ばれた小田原中学

八幡山の新校舎

明治時代の東海道線は、国府津から山北・御殿場を経由して沼津に通じていたが、急勾配のうえ、トンネルと鉄橋が続き、大雨や台風のたびに線路や鉄橋が流されて不通になつた。この問題解決のため、鉄道院は明治42年（1909）、国府津から小田原・熱海を経由し、丹那トンネルを開削する計画を立てた。大正元年（1912）、鉄道院から県当局に本校敷地を鉄道用地にしたいという照会が来た。

体操の時間に「地ならし」に励む生徒たち

が美新で働くもを校でい山るイのい

は森林をめぐらし、箱根山を背負い、相模灘を一望する風光絶景の地である。このような所に自分たちの新校舎ができるという思いは生徒たちも喜ばせ、「地ならし」「木運び」に熱が入った。その建設に少しでも抜けたことは、忘れられない思い出であり、誇りだった。

閑院宮は伏見宮、桂宮、有栖川宮と並ぶ江戸時代の四世襲親王家の一つで、新井白石の進言により創立。安永8年（1780）、後桃園天皇に皇子がないため、閑院宮から光格天皇が皇位を継承し、以来、皇統が現在の天皇まで続いている。

2 閑院宮の「修学」



完成間近の新校舎

長を小田原城址である八幡山御料地に案内した。県当局は帝室林野管理局より御料地を20年間無料で貸すと、いう回答を得て、3か年の新築工事が始まった。

至誠無息

修学旅行で友だちと京都見物を  
楽しむまれる殿下

初等科5学年を長期休学し、小田原御別邸に移っていた。殿下は地理歴史教室をご教室として、毎日1時間ずつ小学校5・6年課程の国語漢文と算術を学習された。ご教授は、国語漢文が小林好曰先生、算術が井上武十郎先生だった。生徒たちは「殿下が毎日私たちと同じ校舎に学んでいることを思うと、恐れかしこまるばかりである。私たちはどれほど幸福であることが、全国に中学校は多数あるといつても、皇族が通学される学校は果たしてどれほどあるだろうか」と、喜びでいっぱいだった。

春仁王殿下は大正5年（1916）、小学校の全課程を修了し、阿部部長は載仁親王殿下より「一切他

の生徒と同様に」との説明を受け、本校第1学年に入学された。クラス担任は小林好曰先生である。殿下の席は教室最前列で、机は白布をかけあってたものの、他の生徒と全く同じものだった。生徒たちは「殿下」とお呼びし、「一日も早く親しくお話をしたい」と思った。殿下は宮様ぶらない、とてもおとなしい温厚な方で、「皆と早く馴れて同級生として親しみたい」と思われた。翌大正6年（1917）から載仁親王殿下の希望により、お付き添いを廃したので、殿下は昼休みに生徒たちとサッカーをして遊び、剣道部、藤折、全校マラソン競走、発火演習、修学旅行などに参加された。このような学

校生活だったので、生徒たちも殿下を敬いながらも、親しくなつていった。

殿下は5年間、率先して校規を守り、生徒たちの模範となられた。天候にかかわらず、毎日天神山の御別邸から歩いて通学し、式典や講演会では最初から最後まで背筋をピンと張り、毎年の剣道寒稽古は皆勤だつた。5年生の新学期に学習院から籤を本校に移し、名実ともに本校の生徒となられた。大正10年(1921)3月、第16回卒業式が挙行され、殿下は「本校を出づるに臨み五百の愛弟子に一言す」という言葉を示されてゐる。当時、皇族が学習院ではなく地方の中学校に入学し、5年間で卒業されることは異例であり、本校にとって無上の光榮だった。

3 先生方と生徒たちの活躍

吉田庫三初代校長は二宮尊徳の教えを説き、質実剛健の気風を養成した。和歌山県視学官を経て、第四中学校（現横須賀高校）初代校長として中等教育に情熱を注ぎ、大正11年（1922）に没した。

阿部宗孝第二代校長は吉田校長の教育方針を引き継ぎ、校訓「至誠無怠」、「堅忍不拔」の制定、校友会（現生徒会）の創設、八幡山への校地移転、閑院宮春仁王殿下のご教育など、本校の基盤を築いた。一方、小田原町立小田原女学校（後の県立小田原高等学校）



中学第16回卒業記念写真、前列中央が殿下、左が井上県知事、その左が阿部校長



校舎玄関前での剣道部とのご卒業記念写真、前列中央が殿下、左が阿部校長、右が高野佐三郎先生、右端に御手植えの松が見える

高等女学校・県立小田原城内高等学校（中12）初代校長も兼務し、女子中等教育の創設に努めた。大正11年に本校退任後、東京府立第六中学校（現東京都立新宿高校）初代校長、東京府立高等学校校長（現東京都立大学学長）、満州国吉林師道大学学長として活躍した。

阿部校長は、人格・学識ともに優秀な人物を教師に採用した。

小林好曰先生は本校の国語教育を漢文調の作文から□語体へ革新し、校友会誌「相洋」を創刊。尾崎雄吉先生、吉田校長の修身の授業を受講したことから二宮尊徳研究を始め大日本報徳社副社長となつて「二宮尊徳全集」全36巻を刊行した佐々井信太郎先生、東京高等師範学校（現筑波大学）教授として大日本帝国劍

文を載せ、学校行事も執筆させた。北原中秋が小田原に転居すると、その自宅へ生徒たちを連れて行き、轟田義雄（中16）を育てた。その後東北帝國大学の国語学教授として活躍する。小林先生だけでなく、「万葉集」を中心とする上代文学研究に多大の業績を残した国文学者の武田祐吉先生、吉田校長の修身の授業を受講したことから二宮尊徳研究を始め大日本報徳社副社長となつて「二宮尊徳全集」全36巻を刊行した佐々井信太郎先生、東京高等師範学校（現筑波大学）教授として大日本帝国劍

道形を制定し、剣道指導方法を確立した「近代剣道の祖」と称される高野佐三郎先生、酒井恒（中18）がその授業を受けて生物学者を志し、高知博物会を設立して植物学者の牧野富太郎とともに博物学の発展に大いに貢献した伊藤和貴先生、徒步部で河野謙三（中15）を指導し、箱根駅伝のコースを設計、箱根駅伝審判長、ロサンゼルスオリンピック日本選手団役員、東京オリンピック審判団団長を務めた澁谷寿光先生（中7）など、優秀な先生ばかりだった。

生徒たちも春仁王殿下が在学されたため、緊張して學習に励み、心身を鍛えた。その結果、「服装といい、態度といい、誰でも一見すれば、小田原中学校の生徒は見分けがつくほど立派であった」と評され、全国中学校長会では「中学校參觀は、関東



校舎玄関前の歩兵部（現陸上競技部）、中央が澁谷寿光先生、その左後ろが河野謙三（中15）

副総理・自民党総務会長の河野一郎（中12）、参議院議長の河野謙三（中15）、詩人の藪田義雄（中16）、小説家の川崎長太郎（中17相当）、群馬大学学長の石原恵三（中18）、世界的な甲殻類学者の酒井恒（中18）、小説家の北原武夫（中19）などの活躍が注目される。

閑院宮春仁王殿下は大正10年（1921）2月にご在校記念、3月にご卒業記念に松を御手植えになつた。その他にも明治・大正時代の記



閑院宮春仁王殿下（中16）御手植えの松、右がご在校記念樹、左が伐採を余儀なくされたご卒業記念樹、現在の旧正門北側

念樹として、明治38年に明治天皇第6皇女常宮・第7皇女周宮兩殿下がご来校記念に御手植えになった公孫樹2本（雄と雌）、大正2年に生徒たちが初代校舎から八幡山新校地へかつて運んだサクラとサルスベリ、八幡山新校地の「櫻林」のシラカシ、大正7年の中学13回卒業記念樹ユリノキ、大正9年の中学15回卒業記念樹カツラ、大正10年の創立二十周年記念樹ザクロなどが現存する。それ以後も現代に至るまで数多くの記念樹が植えられてきた。

#### 4 さまざまな記念樹

12、芥川賞作家の尾崎一雄（中12）、



明治天皇第六皇女・常宮  
殿下御手植えの公孫樹

卒業記念樹) がマツノザイセンチユウにより枯れ、伐採を余儀なくされました。今後このようなことが二度と起きませんように、十分な保護対策を講じていく必要があります。教職員、生徒、保護者、卒業生の皆様が各樹木の意義をご理解になり、大切にしてくださることを願つてやみません。

ンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ強く要望し、平成21年周宮殿下御手植えの公孫樹が現在地に移植された。皇族御手植えの記念樹は、本県の県立高校では例がなく全国的にも珍しい。



## 小田高の記念樹

(うち2本は切株から生えている)

新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望した。(現存)



旧正門下の明治のサクラ

小田原駅の地にあつた初代校舎の跡地に、**之助**の寄贈により多数のサクラが植えられていた。大正2年、八幡山へ校地移転に伴い、生徒たちが体操場の時間にかついで運び移植した。十数本あつたが、てんぐ巣病により枯れたり、伐採されたりして、現存するものはごくわずかとなっている。

平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望した。(現存)

## 明治のサルスベリ



### 「櫻林」のシラカシ

現在の武道館からその南側のクレーン下にかけて、「檜林」がうつさうと繁り、生徒たちと先生方にどうて懐かしい思い出の場所となつていて。昭和23年には「檜林」の檜の葉を採つて、現在の校章が制定された。「檜林」は昭和32年、旧体育館建設のため、惜しまれながら伐採されたが、その根から7本が成長して大木となつている。平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望した。(現存)

中学13回卒業記念樹ユリノキ



ラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望した。(現存)

### 中学15回卒業記念樹カツラ

南館北側

大正9年、中学15回卒業生一同が卒業記念に植えた。旧ブール(現櫻葉館)の西側にあり、樹形のすばらしい名木だった。平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望したが、平成19年に伐採され、平成21年には根も撤去された。同窓会がその根を栽培して平成22年に現在地に定植し、平成24年に説明板を設置した。



大正10年、ご在校記念とご卒業記念に第一代校舎の本館前庭にそれぞれ赤松を御手植えになった。閑院宮は江戸時代の四世襲親王家の一つで、閑院宮から光格天皇が皇位を継承し、以来、皇統が現在の天皇まで続いている。第七代春仁王殿下(中16)は、天神山の小田原御別邸より本校に通学された。平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ強く要望した。令和3年10月、西側のご卒業記念の松が枯れ、伐採を余儀なくされたので、同窓会が幹を加工して校史展示室に保存・展示了。また、現存するご



創立二十周年記念樹ザクロ



南館北側

在校記念の松が枯れるのを防止するため、学校が対応できないことから、同窓会が令和4年1月に薬剤樹幹注入を実施した。皇族のご来校ではなく、ご在校・ご卒業の御手植え記念樹は、本県の県立高校だけでなく、全国的にも例を見ない。



閑院宮春仁王殿下御手植えの松



県指定天然記念物  
「県立小田原高等学校の樹叢」

昭和46年、県教育委員会により指  
定された。関東以南の海拔700m以下の台地は、かつてはカシ類、クスノキなどの照葉樹林に覆われていたが、農耕その他の産業用地として古くから開発してきた。さらに最近の都市開発は、海岸や河川に近い台地・丘など最後の残存自然域をも利用している。本校の樹叢は、わが国に残された数少ない残存照葉樹林である。平成13年、説明板が老朽化していたので、創立百周年記念事業実行委員会が新調し、樹叢植生図も設置した。



小田原高等学校の樹叢



南館南側8本

昭和28年、高校5回卒業生一同が卒業記念に植え、記念碑を設置した。記念碑は現在、草に埋もれている。



高校5回卒業記念樹サクラ

南館南側8本

昭和49年、高校26回卒業生一同が卒業記念に植え、記念碑を設置した。記念碑は現在、草に埋もれている。



正門南側

昭和51年、中学31回同期会が南館落成記念に寄贈した。平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望した。(現存)



南館北側

南館落成記念の石碑  
(周囲のツゲの生垣を含む)

昭和51年、中学31回同期会が南館落成記念に寄贈した。平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望した。(現存)

大正10年、創立二十周年記念に第二代校舎玄関の東西に植えられた。

現在するザクロは西側のもので、老木となり朽ちて倒れたが、枝が地面に着いたところから生えてきた二世。

最近の都市開発は、海岸や河川に近い台地・丘など最後の残存自然域をも利用している。本校の樹叢は、わが国に残された数少ない残存照葉樹林である。平成13年、説明板が老朽化していたので、創立百周年記念事業実行委員会が新調し、樹叢植生図も設置した。

卒業記念に第四代校舎の「憩いの庭」に数株植え、記念碑を設置した。同窓会は存続を県教育委員会へ要望したが、平成21年、すべて伐採されることとなり、同窓会が1本を記念碑とともに現在地に移植した。

高校32回卒業記念樹サザンカ

正門北側

昭和55年、高校32回卒業生一同が卒業記念に第四代校舎の第3棟東側に10本植え、記念碑を設置した。平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望したが、平成21年、すべて伐採されることとなり、同窓会が1本を記念碑とともに現在地に移植した。



ホイットマン高校交流記念樹  
ハナミズキ

中學37回卒業五十周年記念樹

三

**中学35回卒業五十周年記念樹  
シダレザクラとシラカシ  
旧正門南側**

平成15年、同窓会が記念樹等の診断を依頼した鎌倉樹木医院の大野啓一朗樹木医によると、県内最大と考えられるので、小田原市または神奈川県に申請して、記念物の指定を受けるべきものである。目通り幹周約6.5m、株元周囲約7.5m、樹高約20m、枝張り状況は東西約25°、南北2m。

小林武校長植樹のシラカシ

武道館東側 2 本

昭和57年、小林武校長（中37）がシラカシを増やすため、「櫻林」の地に数本植えた。2本のみ現存している。

中学28回卒業五十周年記念樹  
シラカシ

武道元年  
4月

昭和58年、中学28回同期会が卒業五十周年記念に植え、記念碑を設置した。平成15年、新グラウンド建設に際し、同窓会は存続を県教育委員会へ要望した。(現存)

武道館北側14本

ホイットマン高校交流記念樹  
ハナミズキ

正門南側2本

昭和58年から本校は、本県と姉妹提携をしているアメリカ合衆国メ

巨木のクスノキ

校地東北部

平成15年、同窓会が記念樹等の診断を依頼した鎌倉樹木医院の大野啓一朗樹木医によると、県内最大と考えられるので、小田原市または神奈川県に申請して、記念物の指定を受けるべきものである。目通り幹囲約6.5m、株元周囲約7.5m、樹高約20m、枝張り状況は東西約25.8m、南北約24.2m。

新グラウンド建設に伴う  
校地東側散策路14本、グラウン  
ドへの階段上2本

シラカシ

平成21年、グラウンド整備工事に伴いサクラが植えられる計画だったが、工事によりシラカシが多数伐採されたので、同窓会が代りにシラカシを植えることを県教育委員会へ要望して植えられた。

## 新グラウンド建設に伴う シラカシ

卷之三

校地東側龍溪路1本  
ノン

三

平成21年、グラウン  
半<sup>ハ</sup>ナクラが植えられ

卒業設置を巡った。が、工事によりシラカシが多数伐採されたので、同窓会が代りにシラカシを植えることを県教育委員会へ要望して植えられた。

中学38回卒業五十周年記念樹  
シラカシ

平成5年、中

A black and white photograph showing a dense thicket of trees and bushes, likely a tropical forest edge or scrubland. The foreground is dominated by a large tree trunk on the right, with many smaller branches and leaves visible. To the left, there are more dense clusters of foliage and what appears to be a path or opening through the vegetation.

巨木のクスノキ

# 中等教育史料館から

## 史料館の公開

個人やグループのご見学は、事前予約制により平日・休日ともどなたでも無料でご覧になります。同窓会事務局までご連絡ください。なお、新型コロナウイルス感染対策として、マスク着用、手指消毒、芳名帳の記帳、換気などを講じています。

定例公開は9月末現在、次のように行いました。

### 1 新着任教職員

新着任された教職員の方々に小田高の歴史と伝統をご理解いただくため、4月1日に公開し、19名が来館されました。母校のご配慮により例年倍の40分間ご覧いただきました。

### 2 入学式

保護者の見学機会を増やすため、4月6日の入学式後に公開し、8名が来館されました。

### 3 新入生オリエンテーション

新入生に小田高の歴史と伝統を学んで小田高生としての自覚と誇りを持つていただきため、平成23年度から母校の全面的なご協力のもと、最も大切な公開行事として実施しています。4月7日と11日に担任の先生がご自分のクラスを引率され、1学年全9クラス、計330名が来館されました。



伐採を余儀なくされた閑院宮御手植えの松



ご卒業100年記念  
閑院宮が学ばれた小田原中学

## 4 樫友祭（小田高ホームカミングデー）

5月8日に45名が来館されました。この日から1年間、令和4年度企画展「ご卒業100年記念 閑院宮が学ばれた小田原中学」を開催しています。

### 5 PTA広報委員会

昨年度に引き続き、6月17日に15名が来館されました。10月に発行のPTA広報紙「小田高」で史料館をご紹介くださいました。

### 6 小田高祭

昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため、公開を中止しました。本年度は8月6日に公開し、43名が来館されました。

### 10 第1回学校説明会

昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため、公開を中止しました。本年度は8月6日に公開し、43名が来館されました。

## 生物標本群の保存・活用



## 史料館の整備

かねてより樫友会室（同窓会事務室）の西半分は史料収蔵庫でしたので、その機能を明示するため、6月15日に西のドアの上に表示板「収蔵庫」を設置しました。



ウミスズメ

昨年度は、ウミスズメ（絶滅危惧IA・大正11年）、ブッポウソウ（絶滅危惧IB・大正元年）、ヘラシギ（絶滅危惧IB・大正8年）、シラコバト（絶滅危惧IB・採集年不明）、ハリモグラ（絶滅危惧LC・昭和7年）、ホトトギスのメス（明治45年のクリーニング・補修を湘南剥製研究所により実施し、3月26日にウミスズメとヘラシギを教材展示室に、その他を生物教材室に展示しました。

保護者・卒業生・一般の方の来校がなくなりましたので、史料館の公開を中止しました。本年度は6月18日を中止しました。19日に公開し、計79名が来館されました。

### 7 学校運営協議会

母校より依頼があり、初めて7月13日に公開し、8名が来館されました。大変熱心にご覧くださいました。

内高校は明治以来、県西の女子中等教育を担ってきました。多くの方々にその歴史をご理解いただくことは、大変意味深いことだと思います。

これまで生物教材室に一等級の遮光・遮熱カーテンを設置し、蛍光灯をLEDへ取り換え、希少種など52点にキヤブショウをつけ、オランウータンなど大型標本のビニールカバーを新品に取り換えました。希少種などのクリーニング・補修、防虫剤の交換は毎年行っています。

これらは学術的価値が高いだけでなく、近代中等教育の「歴史的教材」としても貴重です。

この生物標本群を小田高の教育遺産として適切に管理・活用していくため、母校のご理解をいただき、平成30年12月に母校と「生物標本群の管理・活用について（覚書）」を調印し、史料委員会が実務を担当しています。

会、PTA講演会にも公開していただけでした。本年度はさらに連携を進め、新着任教職員、入学式、新入生オリエンテーション、樫友祭、小田高祭、第1回学校説明会にも公開していただきました。県立小田原城にて実施されました。

生オリエンテーション、樫友祭、小田高祭、第1回学校説明会にも公開していただきました。

内高校は明治以来、県西の女子中等教育を担ってきました。多くの方々にその歴史をご理解いただくことは、大変意味深いことだと思います。

これまで生物教材室に一等級の遮光・遮熱カーテンを設置し、蛍光灯をLEDへ取り換え、希少種など52点にキヤブショウをつけ、オランウータンなど大型標本のビニールカバーを新品に取り換えました。希少種などのクリーニング・補修、防虫剤の交換は毎年行っています。

これまで生物教材室に一等級の遮光・遮熱カーテンを設置し、蛍光灯をLEDへ取り換え、希少種など52点にキヤブショウをつけ、オランウータンなど大型標本のビニールカバーを新品に取り換えました。希少種などのクリーニング・補修、防虫剤の交換は毎年行っています。

の説明板設置と巨木クスノキの天竺  
記念物指定について、8月に吉川久  
長と中島校長が協議しました。記念  
樹等は母校の管理下にあり、県費  
より一度にまとめて説明板を設置  
することは困難であることから、中  
卒業50周年記念樹シラカシ・高22  
メートルシラカシ、第三代校舎正門  
門柱の説明板は、母校が1~2年で  
一つずつ計画的に設置し、巨木クス  
ノキの天然記念物指定の申請は、同  
校が判断する。ただし、「檜林」、  
「ラカシ」の説明板は、校章「檜の葉」  
が「檜林」から採られ、歴史的にも  
重要な意味を有することから、同窓  
会が設置を検討する。このような方針  
で進めていくことになりました。

記念樹関係事業

本年度は、明治時代に作成された「歴史的教材」64点にキャプションをつけました。希少種などのクリーニング・補修も実施する予定です。



ヘラシギ

校史資料研究協議会

展示室を通して母校の発展に寄与

奈川県の旧制中学校における英語  
教育史(1)－外国人講師を中心とした  
－ 拓殖大学外国語学部英米語  
学科 保坂芳男教授より

○閑院宮春仁王と直子妃の朝鮮御視察アルバム（昭和10年）、中16同  
期会記念写真（大正10年、昭和51年、昭和54年）石井敬士様（高  
木同窓会用）

ルケ

校、県立小田原高校の同窓会が協力し、平成24年4月に校史展示施設設置校（同窓会）連絡会が発足しました。その後、県立横浜緑ヶ丘高校牧陵会、県立平塚江南高校同窓会、昌立鶴見高校鶴陵会が加わり、令和2年10月に6校同窓会からなる校史資料研究協議会となりました。第3回校史資料研究協議会が5月21日に横浜平沼高校真澄会室で開催され、校史資料に関する取組状況や「行政文書の適正な保存及び廃棄について」の活用について、有意義な意見交換が行われました。

主な寄贈史料のご紹介

するため、展示室を開設している校、県立横浜平沼高校、県立横須賀高校、県立小田原高校の同窓会が協力して、平成24年4月に校史展示施設設置校（同窓会）連絡会が発足しました。その後、県立横浜緑ヶ丘高校牧陵会、県立平塚江南高校同窓会、県立鶴見高校鶴陵会が加わり、令和2年10月に6校同窓会からなる校史資料研究協議会となりました。第3回校史資料研究協議会が5月21日に横浜平沼高校真澄会室で開催され、校史資料に関する取組状況や「行政文書の適正な保存及び廃棄について、有意義な意見交換が行われました。

○県立小田原高等学校図書原簿（昭和25年～平成10年）18冊 司書  
宮永敏明先生より  
○第59回高P連県西地区大会 小田原高校PTA発表資料 位田明生

部制作DVD（平成22年）・吹奏  
樂部定期演奏会第1部・第2部  
放送部制作DVD（平成24年）  
○ 小田原高校コミュニティ・スクール  
（国際資本）（昭和33年）

**シラバス、年間指導計画** 平成21年度（2009）以前、平成22年度（2010）、令和元年度（2019）～3年度（2021）

小田高生活の手引、小田高生活の案内、入学のしおり、小田高生活ガイドブック、小田高ガイドドブック、新生の手引き 昭和39年度以前、昭和11年、平成1年、5年度

学校概覽、学校要覽、昭和26年度以前、昭和34年度  
学校案内(パンフレット)、昭和62年度以前、平成8、11、13、21、27

次の史料を探しています。永年保存するため、ご恵贈いただけました  
ら幸いです。

史料ご惠贈のお願い

〔片岡日記 大正編〕小田原史談会会長  
編集 青木良一 小田原史談会会長

## 史料ご惠贈のお願い

史料委員は小田高南館3階の桜井会室（同窓会事務室）で、校史資料の保存や企画展の検討などについて活動しています。ご関心のある方はぜひ同窓会事務局までご連絡ください。校史ガイドは史料館公開時に見学者をご案内します。公開が増えておりますので、校史ガイドの増員が必要です。ぜひP25の「校史ガイド登録のお願い」をご覧ください。

史料委員会  
校史ガイド募集中

田高】  
15号  
16号

総合学習テーマ学習概要、総合学習の手引き、総合的な学習の時間 学習の手引き 平成17、18  
20～22、27、令和元年度以降

25、  
26、  
28、  
30、 令和元年度  
**進学要覧、進学のしおり** 昭和38年  
度以前、昭和45、平成9年度

修学旅行のしおり、研修旅行のしおり  
昭和24年度以前、昭和29、

**体育祭プログラム** 昭和41年度（第18回）以前、昭和43（第20回）、昭和44（第21回）、昭和59（第36回）  
昭和63（第40回）、平成21、22

5月14日ホテル城山にて会員19名の出席をいただき、平成4年度の総会を実施しました。来賓として、吉川同窓会長、中島校長、蛭田東京会幹事にも出席を賜り、ご祝辞をいただきました。お三方には大変お忙しいなか、神奈川の西の果てまでお越しいただき、改めて感謝申し上げま



パークブルフ

本会は、会員の親睦を図るため、年2回のボウリング大会、パークゴルフ。そして地域に貢献する会として、海岸清掃、幕山公園の桜の下草刈りなどを行っています。多くの会員の参加をお待ちしています。

湯河原地区  
八田鳴会

私事ですが、高校16回生は今年77歳、いわゆる喜寿を迎えます。昔ながらいいお爺で隠居の身の筈なのですが、今も地元のお手伝いを少しですが行っています。ソフトテニスも行事や用事が無い時は、週四回城山コートに通っています。何歳まで続けながら続けていきたいと思う今日この頃です。



海岸清掃

をいただきました。遠藤先生はソフトテニス部の大先輩で今も城山コートで一緒に楽しんでいることもあります。講演にあたっては、大変ご無理をされました。ありがとうございましたが、心良くお引き受けいたしました。

総会後の講演は講師に高13回遠藤郁夫（浜町小児科医院医師）さんをお招きし、「感染症について、持

地域・職域同窓会の動き

小澤稔  
(高16)

長職の披露に大いに感動、学生の国際交流や老人福祉施設の経営や農業経営者等の苦労話等、来年の約束も出て大変有意義であった。

の「八幡山の青春録」が完成、平成16年からは、毎年総会にあわせて発行している「会員だより」が両君の力によつて18号を数えることができたことは誠にありがたいことであつた。



後列左から 坂本先生、長田先生、藤田先生  
 前列左から 小嶋先生、奥津先生、加藤先生

第30回

コロナの中、昨年10月15日小田原駅前の「うおがし」で開催できた。

あつたが、国語の吉田先生の大野先生、体育の富権先生も元気にして居られる由、何よりでした。

## 同期会の動き

治家の後援会長も重なってしまったので、誠に感謝にたえません。  
本多裕昭先生が82歳で他界された由。ハイレベルな試験や進路指導のご苦労に感謝し、ご冥福をお祈り申上げます。



後列左から 古木、斎藤、勝間、勝俣、宮崎、近藤、柴  
前列左から 倉持、村田、奥津、赤堀、杉山、麻美

なんといっても、6年間の八幡山の戦中・戦後の激動混亂期、中学から高校への転換を経験した学年は小田原高校の歴史の中でも誠に稀有の学年であり、酒匂の印刷局で満州国の紙幣を戦闘帽、国民服、巻き脚絆の黒インクにまみれ、松林越しの敵の艦載機による機銃掃射を受けたり、酒匂川で山北方面から旋回急降下してきた機銃掃射等、同期生誰しも体験話等はつきことなき私達の絆の原点でもあり、更めて幹事として尽力してくれた村田道治君、坂上功君、古木弘久君をはじめとして協力してくれた学友に感謝の念を捧げたい。

幹事代表 奥津和彦

## 高7 小田高時代の雰感

小田高7期の仲間は今年86歳になります。人生100年時代と言われますが、我々の先輩の訃報に接する機会が増えてきました。コロナ禍の中、大勢で集まる葬儀式が極端に減っていますのでお別れもできずさみしい思いに浸っております。彼の先輩、この先輩、又、彼の後輩と寂しく去つて逝かれると、次は我々かな、と思うようになります。

青春時代を過ごした母校を思うとき、あの時、もつとこうすれば良かつたと思うことがたくさん浮かびます。男女共学が始まつた頃です。同学年で数名の女生徒でした。今や女子高生を思わせる女性の賑わいです。女子高生を思ふ

高といえども小田原城内高校、今では合併して一緒にになりましたが、憧れの女子高でした。一度合同の同窓会企画は大変でしようが死ぬまでに実現出来たら大満足です。

遠藤博

## 高9 「桜九会」はコロナ禍で3年連続中止!!

「桜九会」は昭和56年（1981）に発足。平成・令和と42年間を駆け抜け、32回のイベントを実施し、来年で最後となります。一覧表は「桜九会」の軌跡です。来年は会場未定ですが、5月20日（土）実施予定で



平成4年8月21日 富士フィルム小田高同期会 於：広沢寺温泉（東丹沢七沢温泉郷）  
左から 故白坂訓彦、故剣持欣功、故松本文男、故小沢大司、筆者

す。是非ご出席のほど。コロナの収束が出来ない場合は、断腸の思いで、終宴とさせていただきます。

常任幹事 奥津和彦

## 11期生の傘寿を祝う会

コロナ禍のため「11期生の傘寿を祝う会」を開催できずにいましたが、

1981年	昭和56年		風祭・スズヒロホール
1982年	昭和57年		
1983年	昭和58年	6月18日	大磯プリンスホテル
1984年	昭和59年		
1985年	昭和60年	7月13日	大磯プリンスホテル
1986年	昭和61年		
1987年	昭和62年	7月	熱海・日東ホテル
1988年	昭和63年		
1989年	平成1年	7月15日	箱根・小涌園
1990年	平成2年		
1991年	平成3年	7月13日	小田急センチュリーハイアット
1992年	平成4年	7月	箱根・小涌園
1993年	平成5年	7月18日	箱根プリンスホテル
1994年	平成6年	7月16日	小田急センチュリーハイアット
1995年	平成7年	7月22日	フォーシーズンズホテル
1996年	平成8年	7月27日	湯の花ホテル
1997年	平成9年	7月20日	清風樓
1998年	平成10年	7月18日	西熱海ホテル
1999年	平成11年	7月17日	フォーシーズンズホテル
2000年	平成12年	7月15日	湯本富士屋ホテル
2001年	平成13年	7月14日	清風樓
2002年	平成14年		
2003年	平成15年		
2004年	平成16年	7月24日	報徳会館
2005年	平成17年	5月30日	湯本・やえいかん
2006年	平成18年	4月4日	アジアセンターODAWARA
2007年	平成19年	5月9日	ヒルトン小田原リゾート&スパ
2008年	平成20年	5月8日	報徳会館
2009年	平成21年	5月7日	湯本富士屋ホテル
2010年	平成22年	5月7日	報徳会館
2011年	平成23年	5月9日	ショクアン
2012年	平成24年	5月7日	ショクアン
2013年	平成25年	5月7日	じんりき（ショクアン）
2014年	平成26年	5月7日	じんりき（ショクアン）
2015年	平成27年	5月7日	じんりき（ショクアン）
2016年	平成28年	5月7日	じんりき・シーフードバール
2017年	平成29年	5月20日	じんりきダイニングWABITO
2018年	平成30年	5月19日	じんりきダイニングWABITO
2019年	令和1年	5月18日	じんりきダイニングWABITO
2020年	令和2年	5月16日	新型コロナウィルス騒動で中止
2021年	令和3年	5月15日	新型コロナウィルス騒動で中止
2022年	令和4年	5月14日	新型コロナウィルス騒動で中止
2023年	令和5年	5月20日	桜九会ファイナル（会場未定）



3月15日に開催した各クラスの代表幹事会で5月14日に開催することが決まりました。思い切って3年ぶりに、2年遅れの「傘寿を祝う会」として63名の同窓生が出席して、新装の「ミナカ小田原」ビルの「天成園」4階コンベンションルームで持



小田高11期生 傘寿を祝う会 2020.5.14



辻秀志  
常任幹事 太田充

今後は11期のウェブサイト（Web 11）への掲載（2009年から800件余の投稿文掲載）のみ続けます。

紙は同期の大倉君のデザインを作りあげ、開催日に配布します。高篠先生（97才）の寄稿も載っています。

ち、お互いの人生を披瀝し合い、長寿を祝いました（写真参照）。

今回を最後の学年

同窓会と位置づけ、皆の人生の思い出や社会での活躍を披瀝する文集「檜の香」（かしのか、投稿者83人、160頁、表

## 会員通信

4年度同窓会総会へ寄せられたものです。  
(概要)

**足柄版****掲載号：2021年7月31日号****日本人で初めて国際的な映画音楽コンクールでトップ10入りした  
古屋 沙樹さん**

南足柄市在住 30歳

**海外でも通用する楽曲を**

○…都内の企業で、映画やスマートフォン向けゲームなど、これまでに10作品以上の楽曲の制作に携わる。一方で、新たな取り組みとして個人的に力を入れるのが、海外のテレビやCMで使用される曲作りだ。「いずれはハリウッド作品のような大きな仕事に参加したい」と前を向く。

○…2017年に子ども向けのアニメ番組のコンペで自分の楽曲が採用され、作編曲家として本格的に活動を開始。さまざまな曲に触れる中、いざ海外に目を向けてみると「日本の曲との違いは歴然、重厚で低音の音に仕上げられた作品に衝撃を受けました」と目を見開く。現在はパソコン用の音楽ソフトを駆使し、海外のティストに近づけるための音作りにも力を入れる。今春には、世界中からの参加がある海外のコンテスト「オディコンズ学部国際映画音楽コンクール」で、日本人として初めてトップ10入りを果たした。

○…南足柄市出身。音楽教室の講師をしていた母親の影響もあり、3歳から電子オルガンを学び始めた。幼いころから好きでよく見ていたディズニー映画や、中学校の吹奏楽部で編曲の面白さを知り、次第に「映像音楽を作りたい」との思いが高まっていった。東京藝術大学に進学し、作曲科を専攻。卒業後も音楽ソフトを使った音作りや、知人からの依頼による編曲に携わるなどし、力をつけていった。

○…「家族が見ているテレビの音が耳についちゃって。職業病ですかね」と頭をかく。息抜きにと、高原などに足を運び「ぼーっとすることが最近のルーティン」になっている。もともと旅行が好きで「海外に一人で行くことも苦ではありません」とにこやか。世界に名前を轟かせる日も、そう遠くはないのかもしれない。



古屋沙樹(高62)

タウンニュース足柄版で紹介させていただきました。(株)タウンニュース社 中島正裕(高46)



常に伝統校としての格調と品位を失わず、「至誠無息、堅忍不拔」の校訓を実践し、小田高愛を貫いた人。心中で、お疲れさまでしたと労い、ゆっくりとお休みくださいとお言葉をおかけしました。大変お世話になりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

大きな節目には、必ず存在感を示し、後輩の歩む道をしっかりと導いていただきることは感謝に堪えません。小田原高校1回生であり、百周年の時の同窓会長、小田原城内高校との統合の時の同窓会長でもありました。

突然の訃報に驚かされました。私にとっては、県庁の大先輩でありますが、高瀬さんほど身心ともに強靭な人は知りません。過去にいくつかの大病にあっても、お会いするときはいつも元気な変わらぬお姿であったことが忘れられません。

小田原高等学校同窓会極友会会長  
吉川伸治（高23）

故 高瀬孝夫 元同窓会長を偲ぶ  
(4年9月26日逝去、享年92歳)  
高瀬孝夫（高1）  
元同窓会長



訃  
報

ご冥福をお祈りいたします

\*事務局に連絡があつた方を掲載しています。





(1) 創立百二十周年事業の成果を発展  
一昨年から続く新型コロナ感染症  
の感染状況が厳しい中で、感染予防  
に最大限の配慮をしながら、創立百  
二十周年記念事業として、学校、P  
TA、同窓会の3者で実行委員会を  
組織し、中等教育史料館の開設、バ  
チャル記念式典の実施等に取り組ん  
だ成果を発展させるため、中等教育  
史料館の更なる充実に向け、同じ南  
館に設置されている窓梅会資料室の  
同時公開等の連携への働きかけ等に  
活動目標

## 令和4年度 事業計画

からのお知らせ  
櫻友会(同窓会)

### 予算・決算の状況

(単位：円)

科 目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額
<b>[収入の部]</b>			
繰 越 金	2,255,609	3,495,264	3,495,264
入 会 金	1,570,000	1,585,000	1,580,000
寄 諸 付 金	6,570,000	6,285,000	6,430,000
収 入 金	10,000	10,000	0
繰 入 金	314,391	160,736	355,849
合 計	10,720,000	11,536,000	11,861,113
<b>[支出の部]</b>			
事 務 費	1,140,000	1,145,000	852,632
事 務 局 費	480,000	480,000	365,682
常 任 幹 事 会 費	180,000	180,000	85,078
校 内 幹 事 費	10,000	10,000	0
会 員 連 絡 費	20,000	20,000	13,480
涉 外 費	80,000	80,000	60,000
消 耗 備 品 費	90,000	90,000	51,617
雜 費	280,000	285,000	276,775
事 業 費	7,220,000	6,891,000	5,723,212
櫻友祭・総会費	800,000	800,000	695,788
入会記念品費	450,000	420,000	464,100
総務委員会費	270,000	413,000	142,802
交流委員会費	320,000	320,000	250,261
広報委員会費	70,000	70,000	6,013
史料委員会費	70,000	70,000	65,031
校歌祭委員会費	500,000	60,000	7,000
会報発行費	3,700,000	3,700,000	3,481,519
広報費	270,000	270,000	249,278
地域職域同窓会費	260,000	258,000	2,000
同期会結成費	150,000	150,000	0
中等教育史料館費	360,000	360,000	359,420
教 育 費	600,000	600,000	429,660
積 立 金	1,460,000	2,600,000	2,600,000
予 備 費	300,000	300,000	0
合 計	10,720,000	11,536,000	9,605,504

### 2 委員会活動

各委員会の事業計画については省略します。

- (2) 同窓会事業への会員参加の促進  
「親睦事業・会費検討会」の答申を受け、新たに取り組みを始めた各種事業の一層の充実を図るとともに、新型コロナ感染症の感染予防措置を継続しながら、櫻友祭の企画に当たつての担当の同期会の協力を得たほか、各種事業の企画にも、学年同期会や地域・職域等同窓会の幅広い会員の参加を呼び掛け、事業の着実な推進に努めた。

- (3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを進めた。  
(1) 小田高祭への参加  
令和3年6月に開催が計画されていたが、新型コロナ感染症の感染予防のため、中止となった。  
(2) 女性の役員登用について、各種役員に女性が参加するように呼びかけえたところ、委員会等に徐々に増えつつある。

### 資産の状況 (2021年度)

2022.3.31現在  
(単位：円)

<b>1 基本金</b>	<b>24,979,352</b>
(1) 横浜銀行 定期預金	11,532,064
(2) さがみ信用金庫 定期預金	13,447,288
<b>2 記念事業積立金</b>	<b>1,091,053</b>
(1) 横浜銀行 定期預金	1,091,053
<b>3 予算調整積立金</b>	<b>3,100,006</b>
(1) さがみ信用金庫 普通預金	3,100,006
<b>4 一般会計保管金</b>	<b>18,092,351</b>
(1) 横浜銀行 普通預金	3,348,530
(2) 郵便局 振替口座	12,488,212
(3) ゆうちょ銀行 普通貯金	2,201,077
(4) 現金（小口資金）	54,532
<b>合 計</b>	<b>47,262,762</b>

\* 総会で報告された予算・決算をお知らせいたします。

詳細はホームページをご覧ください。



(1頁5段のうちの最下段)  
③ 横17.8cm×縦9.6cm  
60,000円

(1頁5段のうちの下2段)  
広告料のお支払いは、お申込みをいたいた後、同窓会から振込口座をご連絡しますので、それによりお振込みください。なお、その際の振込手数料は、広告主様でご負担いただきますようお願ひいたします。

#### ◆広告原稿

広告の原稿（デザインを含む）は、申込みの際、広告主様ご自身でご用意ください。掲載時は白黒（グレイ可）となります。

#### ◆募集の締切り

締切りは5年9月1日とさせていただきます。

広告原稿の作成が遅れる場合は、遅くとも9月末までにお送りください。申込方法は、同窓会ホームページをご覧ください。なお、会報の趣旨に沿わない場合や申込数が多数となる場合はお断りすることがあります。

### 会費は同窓会活動の源泉です！

◆同窓会は会費で運営されています。

この会報「八幡山」は、会員全員に送られています。発送部数は、約2万2千部になります。

また、会費は、ホームカミングデー、校歌祭、校史展示室の運営、運動部等生徒の激励、新入会員記念品の贈呈など、さまざまな会の運営

の源泉になっています。  
◆納入はコンビニ・郵便局などで年会費3千円。ただし、卒業後1年目（19歳）は納入を免除し、卒業後2年目（20歳）から6年目（24歳）までは、千円です。

年会費は、この会報に同封される年会費は、この会報に同封されるいる払込取扱票をもってコンビニまたは郵便局で納入いただか、次に要領によりお振込みください。

◆終身会費が人気です。  
60歳以上の方は、年齢に応じた金額（60歳は5万円で1歳上がるごとにマイナス3千円。70歳以上は一律2万円）を納入することができます。

ご利用には「郵便局の払込取扱票」が必要です。詳しくは同封の「終身会費制度のご案内」をご覧ください。

なお、納入者名簿に掲載を希望されない方は、払込用紙の通信欄にその旨を記入してください。

#### ★ゆうちょ銀行を利用

・口座番号 000240-4-63525

・口座名 神奈川県立小田原高等学校

同窓会（現金取扱手数料別）

★銀行・信金から振込

・銀行名 ゆうちょ銀行（9900）

・支店 029（ゼロニキユウ）

・口座番号 当座 0063525

・加入者名（方）カナガワケンリ

ツオダワラコウトウガッコウドウソ

ウカイ

★ダイレクトバンキングを利用

パソコンや携帯電話などを操作して振込む方法もあります。

この方法は銀行などの支店に行かなくてよく、いつでも利用でき、手数料が支店利用時よりも安くなるなどのメリットがあります。

なお、ご依頼人・通信欄において、次の例の通り、ご氏名のあとに卒業回数を必ず記入願います。

・払込用紙の場合

小田高 太郎 高45

・ATM、ダイレクトバンキングの場合

オダコウ タロウ コウ45

但し、ゆうちょダイレクトの場合、

講座、数学科2講座、国語科1講座

### 2021年度 応援基金会計報告

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	3,916,179	進路指導・進学研究	1件 104,000
寄付（88名）	475,000	理科教育	0件 0
寄付（団体）	18,500	学校説明会	0件 0
銀行預金利子	29	部活動支援	0件 0
		その他（英語科海外支援活動送料）	1件 72,000
		運営費（郵便振替経費ほか）	46件 48,142
計	4,409,708	計	224,142

差引（収入一支出） 4,409,708 - 224,142 = 4,185,566

#### 納入方法

同封の「『がんばれ！小田高』応援基金」専用

郵便払込取扱票をご利用ください。

#### 寄付の額

1口千円で何口でも結構です。

この

方法

払込用紙

郵便局

ゆうちょ銀行

からの払込

口座記号番号

000250-8-8

1599

加入者名

『がんばれ！小田高』応援基金

銀行名

ゆうちょ銀行

店名

○二九店（ゼロニキユウ店）

預金種目

当座預金

口座番号

00081599

口座名

（カナ氏名）・ガンバレ オ

ダコウ オウエンキキン

学習や部活に全力で取り組んでい

ます。

係る補助です。各科教員が難関校受験に応じた指導法を受講し、授業に生かすことにより、小田高生の更なる学力向上を目指しています。

この様に基金の支援金は県費での支払いが困難な事案等、様々な教育活動のために使われています。

払込手数料は基金で負担します。

なお、ゆうちょ銀行の料金改定のため、4年1月17日より、現金にて払込される場合、110円の現金取扱手数料が課されることなりました。これに関しては、当基金での負担が難しいため、ご寄付いただく皆様方に迷惑をおかけすることとなつてしましました。ご負担増となつてしまましたが、当基金の趣旨をご理解いただき、基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、次の口座への振込も可能ですが、振込手数料は恐れ入りますが皆様にご負担をお願いします。

なつてしましました。ご負担増となつてしましました。ご負担をお願いします。

払込手数料は基金で負担します。

なお、ゆうちょ銀行の料金改定のため、4年1月17日より、現金にて払込される場合、110円の現金取扱手数料が課されることなりました。これに関しては、当基金での負担が難しいため、ご寄付いただ

く皆様方に迷惑をおかけすることとなつてしましました。ご負担増と

なつてしましました。ご負担増と

## 補助金をもらつて 同期会を始めよう！

同窓会が発展するためには、同期会の結束・活性化が不可欠です。そこで、同窓会では、各卒業期が新たに同期会を結成する場合には、5円を限度として、補助金を交付しています。ぜひ、ご利用ください。

補助金の交付を希望される場合は、同窓会ホームページの同期会結成補助金交付要領にしたがって、申請書をダウンロードしてお使いください。申込書および必要書類を添付してP36同窓会連絡先宛てに郵送してください。

## 掲載廣告索引

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

史料委員長 仮野慎一（高31）

## 校史ガイド

### 登録のお願い

創立百二十周年を記念して令和2年9月、南館3階に「小田原高校等教育史料館」がオープンしました。

公開時に校史ガイドのご協力をいたしております。卒業生でしたら、どうなたでもご登録できます。研修は

3月	卒業式	6月	小田高祭
8月～12月	学校説明会	4月	入学式、新入生オリエンティー
11月	PTA講演会	5月	桜友祭（小田高ホームカミングデー）
			ショノ

活動内容 受付（芳名帳への記帳、手指消毒）、案内、注意、必要に応じて説明など。公開日時を事前にメールでお知らせしますので、ご都合のつくときにご協力ください。

登録方法 同窓会事務局へメールでお名前、ご卒業回数、ご住所、お電話番号、メールアドレスをお知らせください。

が必要な場合には、申請書に希望内容と連絡先PCメールアドレスを追記いただきか、または、桜友会（kanyukai@odako.org）宛てにメール連絡いただければ対応いたします。

☆なお、同期会開催後は、報告書を提出するか、会報「八幡山」に投稿をお願いします。

なく、費用はかかりません。校史がイドの手引きを差し上げます。ご不明な点は、お電話またはメールでお問い合わせください。



## 寄付金・会費納入状況 (令和3年10月から令和4年9月まで)

卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入会人数	入金額	入金率	卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入会人数	入金額	入金率
旧教職員	949	243	297	409	7	23,000	1.71%	高13回(昭和33年~36年)	390	68	40	282	34	102,000	12.06%
小計	949	243	297	409	7	23,000	1.71%	高14回(昭和34年~37年)	407	69	58	280	32	96,000	11.43%
<b>中学校</b>															
中1回(明治34年~39年)	42	40	2	0	0	0	0.00%	高15回(昭和35年~38年)	379	58	57	264	23	79,000	8.71%
中2回(明治35年~40年)	41	37	4	0	0	0	0.00%	高16回(昭和36年~39年)	387	65	36	286	20	60,000	6.99%
中3回(明治36年~41年)	41	38	3	0	0	0	0.00%	高17回(昭和37年~40年)	405	56	56	293	28	104,000	9.56%
中4回(明治37年~42年)	41	38	3	0	0	0	0.00%	高18回(昭和38年~41年)	528	64	76	388	27	81,000	6.96%
中5回(明治38年~43年)	36	30	6	0	0	0	0.00%	高19回(昭和39年~42年)	472	45	63	363	19	57,000	5.23%
中6回(明治39年~44年)	52	39	13	0	0	0	0.00%	高20回(昭和40年~43年)	485	33	87	365	21	63,000	5.75%
中7回(明治40年~45年)	25	25	0	0	0	0	0.00%	高21回(昭和41年~44年)	455	49	55	351	19	57,000	5.41%
中8回(明治41年~大正2年)	56	44	12	0	0	0	0.00%	高22回(昭和42年~45年)	471	45	77	313	25	75,000	7.99%
中9回(明治42年~大正3年)	71	66	5	0	0	0	0.00%	高23回(昭和43年~46年)	439	28	70	341	17	51,000	4.99%
中10回(明治43年~大正4年)	57	52	5	0	0	0	0.00%	高24回(昭和44年~47年)	429	15	103	311	24	72,000	7.72%
中11回(明治44年~大正5年)	59	47	12	0	0	0	0.00%	高25回(昭和45年~48年)	414	14	97	303	27	81,000	8.91%
中12回(明治45年~大正6年)	63	54	9	0	0	0	0.00%	高26回(昭和46年~49年)	411	16	116	279	32	96,000	11.47%
中13回(大正2年~7年)	59	55	4	0	0	0	0.00%	高27回(昭和47年~50年)	407	25	68	314	31	93,000	9.87%
中14回(大正3年~8年)	84	75	9	0	0	0	0.00%	高28回(昭和48年~51年)	405	19	82	304	24	72,000	7.89%
中15回(大正4年~9年)	75	58	16	1	0	0	0.00%	高29回(昭和49年~52年)	452	18	100	334	31	93,000	9.28%
中16回(大正5年~10年)	95	89	6	0	0	0	0.00%	高30回(昭和50年~53年)	444	13	143	288	25	75,000	8.68%
中17回(大正6年~11年)	80	73	7	0	0	0	0.00%	高31回(昭和51年~54年)	445	5	130	310	37	111,000	11.94%
中18回(大正7年~12年)	94	77	16	1	0	0	0.00%	高32回(昭和52年~55年)	453	13	76	364	62	186,000	17.03%
中19回(大正8年~13年)	103	92	11	0	0	0	0.00%	高33回(昭和53年~56年)	445	12	96	337	26	78,000	7.72%
中20回(大正9年~14年)	113	99	14	0	0	0	0.00%	高34回(昭和54年~57年)	451	9	68	374	42	126,000	11.23%
中21回(大正10年~15年)	108	96	11	1	0	0	0.00%	高35回(昭和55年~58年)	455	5	126	324	27	81,000	8.33%
中22回(大正11年~昭和2年)	114	107	7	0	0	0	0.00%	高36回(昭和56年~59年)	445	10	103	332	20	60,000	6.02%
中23回(大正12年~昭和3年)	117	102	15	0	0	0	0.00%	高37回(昭和57年~60年)	403	7	128	268	22	66,000	8.21%
中24回(大正13年~昭和4年)	110	98	12	0	0	0	0.00%	高38回(昭和58年~61年)	454	9	138	307	13	39,000	4.23%
中25回(大正14年~昭和5年)	125	108	16	1	0	0	0.00%	高39回(昭和59年~62年)	465	6	160	299	25	75,000	8.36%
中26回(大正15年~昭和6年)	109	105	4	0	0	0	0.00%	高40回(昭和60年~63年)	455	2	163	290	21	63,000	7.24%
中27回(昭和2年~7年)	152	146	5	1	0	0	0.00%	高41回(昭和61年~平成元年)	469	8	112	349	24	72,000	6.88%
中28回(昭和3年~8年)	153	140	8	5	0	0	0.00%	高42回(昭和62年~平成2年)	513	3	130	380	13	39,000	3.42%
中29回(昭和4年~9年)	143	125	13	5	0	0	0.00%	高43回(昭和63年~平成3年)	477	2	118	357	11	33,000	3.08%
中30回(昭和5年~10年)	155	132	18	5	0	0	0.00%	高44回(平成元年~4年)	514	3	135	376	16	48,000	4.26%
中31回(昭和6年~11年)	164	143	15	6	0	0	0.00%	高45回(平成2年~5年)	457	4	133	320	11	33,000	3.44%
中32回(昭和7年~12年)	150	135	13	2	0	0	0.00%	高46回(平成3年~6年)	442	4	119	319	8	24,000	2.51%
中33回(昭和8年~13年)	173	155	10	8	0	0	0.00%	高47回(平成4年~7年)	439	2	121	316	10	30,000	3.16%
中34回(昭和9年~14年)	168	146	10	12	0	0	0.00%	高48回(平成5年~8年)	427	2	127	298	9	27,000	3.02%
中35回(昭和10年~15年)	162	134	17	11	0	0	0.00%	高49回(平成6年~9年)	414	2	128	284	11	33,000	3.87%
中36回(昭和11年~16年)	175	155	13	7	0	0	0.00%	高50回(平成7年~10年)	398	3	128	267	5	15,000	1.87%
中37回(昭和12年~17年)	177	145	18	14	0	0	0.00%	高51回(平成8年~11年)	391	1	116	274	2	6,000	0.73%
中38回(昭和13年~18年)	184	133	18	33	4	12,000	12.12%	高52回(平成9年~12年)	395	1	112	282	6	18,000	2.13%
中39回(昭和14年~19年)	188	136	21	31	2	6,000	6.45%	高53回(平成10年~13年)	356	0	103	253	8	24,000	3.16%
中40回(昭和15年~20年)5年制	197	145	16	36	4	12,000	11.11%	高54回(平成11年~14年)	357	2	109	246	2	6,000	0.81%
中40回(昭和16年~20年)4年制	206	142	18	46	2	6,000	4.35%	高55回(平成12年~15年)	358	0	100	258	4	12,000	1.55%
中41回(昭和17年~21年)中42回	97	67	16	14	2	6,000	14.29%	高56回(平成13年~16年)	317	1	85	231	4	12,000	1.73%
中42回(昭和17年~22年)	141	91	18	32	2	6,000	6.25%	高57回(平成14年~17年)	395	3	109	283	3	9,000	1.06%
中43回(昭和18年~23年)高1回	176	101	34	41	0	0	0.00%	高58回(平成15年~18年)	387	1	109	277	2	6,000	0.72%
中44回(昭和19年~23年)高2回	63	30	17	16	1	3,000	6.25%	高59回(平成16年~19年)	318	0	78	240	4	12,000	1.67%
併中1回(昭和20年~23年)高3回	26	0	26	0	0	0	0.00%	高60回(平成17年~20年)	320	0	75	245	9	27,000	3.67%
併中2回(昭和21年~24年)高4回	40	0	40	0	0	0	0.00%	高61回(平成18年~21年)	318	0	70	248	2	6,000	0.81%
<b>小計</b>	5,060	4,145	586	329	17	51,000	5.17%	高62回(平成19年~22年)	321	0	69	252	2	6,000	0.79%
<b>高等学校</b>															
高1回(昭和23年~24年)	112	69	6	37	3	9,000	8.11%	高63回(平成20年~23年)	315	1	64	250	10	50,000	4.00%
高2回(昭和23年~25年)	194	107	25	62	13	86,000	20.97%	高64回(平成21年~24年)	322	0	53	269	3	9,000	1.12%
高3回(昭和23年~26年)	320	161	44	115	4	12,000	3.48%	高65回(平成22年~25年)	321	0	55	266	6	18,000	2.26%
高4回(昭和24年~27年)	347	160	42	145	12	36,000	8.28%	高66回(平成23年~26年)	318	0	32	286	8	24,000	2.80%
高5回(昭和25年~28年)	377	162	36	179	25	75,000	13.97%	高67回(平成24年~27年)	320	0	26	294	4	10,000	1.36%
高6回(昭和26年~29年)	381	132	55	194	18	54,000	9.28%	高68回(平成25年~28年)	318	0	28	290	11	11,000	3.79%
高7回(昭和27年~30年)	412	153	39	220	30	90,000	13.64%	高69回(平成26年~29年)	320	0	12	308	15	19,000	4.87%
高8回(昭和28年~31年)	387	133	51	203	30	90,000	14.78%	高70回(平成27年~30年)	311	0	10	301	19	20,000	6.31%
高9回(昭和29年~32年)	400	131	55	214	33	99,000	15.42%	高71回(平成28年~31年)	314	0	4	310	18	18,000	5.81%
高10回(昭和30年~33年)	408	120	42	246	34	102,000	13.82%	高72回(平成29年~令和2年)	319	0	4	315	28	28,000	8.89%
高11回(昭和31年~34年)	388	116	31	241	47	144,000	19.50%	高73回(平成30年~令和3年)	316	0	0	316	25	25,000	7.91%
高12回(昭和32年~35年)	395	73	43	279	39	117,000	13.98%	高74回(平成31年~令和4年)	313	0	0	313	0	0	0.00%
<b>小計</b>						28,925	2,338	5,715	20,872	1,355	3,936,000	6.49%			
<b>合計</b>						34,934	6,726	6,598	21,610	1,379	4,010,000	6.38%			

※終身会費納付者を除く。

※中1回から高73回までは会費の納入をお願いしている卒業回数です。高74回の方々には、ご寄付という形で納入頂いています。

終身会費納入者

# 同窓会活動は同窓生の会費で運営されています

3年10月から4年9月までの年会費納入者と寄付者のみなさん（敬称略）

年会費・寄付金納入者

(31)

小田高同窓会 会報『八幡山』第34号



## 中学からの進学状況

(4年5月1日現在)

## (1) 出身中学校別生徒数

出身中学	年次	1年	2年	3年	合計
小田原市	城山	3	10	5	18
	白鷗	9	5	9	23
	白山	8	16	8	32
	城南	7	5	5	17
	鴨宮	9	7	9	25
	千代	9	6	13	28
	国府津	4	5	2	11
	酒匂	7	8	5	20
	泉	6	5	12	23
	橋	0	0	1	1
	城北	9	8	8	25
	南足柄	4	5	7	16
	岡本	5	9	7	21
	足柄台	4	9	5	18
足柄上郡	中井町	4	3	0	7
	大井町	6	11	8	25
	松田町	2	2	5	9
	山北町	2	1	2	5
	開成町	文	命	13	10
	箱根町	0	0	0	0
	真鶴町	1	2	2	5
	湯河原町	4	3	7	14
	本町	9	6	10	25
	南	7	6	2	15
秦野市	東	7	4	2	13
	北	6	7	8	21
	大根	2	2	4	8
	西	4	14	8	26
	南が丘	13	4	5	22
	渋沢	5	2	7	14
	鶴巣	3	1	3	7
	山王	1	5	8	14
伊勢原市	成瀬	6	3	9	18
	伊勢原	3	6	5	14
	中沢	5	2	2	9
	江陽	5	1	4	10
	大洋	0	1	2	3
平塚市	春日野	1	0	1	2
	浜岳	7	8	10	25
	大野	1	5	1	7
	神田	0	1	0	1
	土沢	0	0	0	0
	金旭	1	3	2	6
	中原	6	1	1	8
	大住	0	0	0	0
	山城	0	4	1	5
	神明	0	1	2	3

出身中学	年次	1年	2年	3年	合計
平塚市	金目	0	1	3	4
	旭陵	3	1	0	4
	大磯町	11	3	7	21
	国府	4	4	4	12
	二宮町	8	9	4	21
	二宮西	1	1	3	5
	第一	2	14	6	22
	鶴嶺	6	3	0	9
	松林	2	2	1	5
	西浜	1	1	2	4
	松浪	7	2	3	12
	梅田	2	2	0	4
	鶴が台	2	0	1	3
茅ヶ崎市	須賀	11	7	2	20
	北陽	0	1	3	4
	中島	1	1	0	2
	円蔵	2	5	1	8
	赤羽根	1	1	4	6
	萩園	1	0	1	2
	寒川	1	1	1	3
	旭が丘	2	2	0	4
	寒川東	2	1	1	4
	深沢	0	0	1	1
	手広	0	0	0	0
	横浜大附属兼食	0	0	1	1
鎌倉市	玉繩	1	0	0	1
	腰越	1	0	0	1
	明治	3	5	5	13
	鶴沼	3	1	2	6
	片瀬	1	0	1	2
	湘洋	3	2	0	5
	藤ヶ岡	0	1	2	3
	高浜	0	3	1	4
	善行	1	0	0	1
	大庭	0	3	3	6
	村岡	3	1	0	4
	湘南台	0	0	1	1
藤沢市	滝の沢	0	0	0	0
	大清水	0	0	1	1
	羽鳥	2	6	3	11
	厚木	3	3	3	9
	荻野	0	0	2	2
	睦合	0	0	0	0
	小鮎	0	1	0	1
	玉川	5	1	3	9
	南毛利	2	3	3	8
	東名	2	2	2	6
厚木市	大磯町	15	6	12	33
	二宮町	9	7	7	23
	茅ヶ崎市	41	38	25	104
	寒川町	5	4	2	11
	鎌倉市	2	0	0	2
	藤沢市	16	23	18	57
	厚木市	10	15	14	39
	海老名市	3	0	1	4
	座間市	2	1	1	4
	相模原市	1	2	0	3
	横浜市	3	0	1	4
	その他	0	0	1	1

出身中学	年次	1年	2年	3年	合計
厚木市	林里	0	0	1	1
	森の里	0	2	0	2
	睦合東	0	1	0	1
	川相	2	1	0	3
	海老名市	0	0	1	1
	柏ヶ谷	0	0	0	0
	大谷	1	0	0	1
	栗原	2	1	1	4
	大野南	0	1	0	1
	東林	1	0	0	1
	相模原中等	0	0	1	1
	戸塚	1	0	0	1
	中川西	1	0	0	1
横浜市	本郷	1	0	1	2
	日限山	1	0	0	1
	その他	0	3	3	6
	合計	318	320	317	955

## (2) 居住地別人数

出身中学	年次	1年	2年	3年	合計
小田原市	72	78	78	228	
	南足柄市	14	23	21	58
	大井町	6	10	8	24
	山北町	2	1	2	5
	開成町	13	12	11	36
	松田町	2	3	5	10
	中井町	4	5	0	9
	湯河原町	4	3	7	14
	箱根町	0	0	0	0
	真鶴町	1	2	2	5
	秦野市	55	46	48	149
	伊勢原市	15	15	24	54
	平塚市	23	27	29	79
足柄上郡	大磯町	15	6	12	33
	二宮町	9	7	7	23
	茅ヶ崎市	41	38	25	104
	寒川町	5	4	2	11
	鎌倉市	2	0	0	2
	藤沢市	16	23	18	57
	厚木市	10	15	14	39
	海老名市	3	0	1	4
	座間市	2	1	1	4
	相模原市	1	2	0	3
	横浜市	3	0	1	4
	その他	0	0	1	1

## 「櫻の葉文庫」

「櫻の葉文庫」は、本校が「卒業生の著書や論文を広く収集し、各界の卒業生の業績を一堂に集め、在校生の指針とすること」を目的に、平成元年(1989)に県下で初めて創設しました。卒業生、在校生、旧職員、現職員の著書を集めたもので、小説、実用書、ビジネス書、教科書、専門書、画集、雑誌など多岐にわたります。著書をお持ちでしたら、ぜひ小田高図書館へご寄贈ください！利用方法につきましては学校にお任せください。

※令和3年9月～令和4年8月寄贈分

卒期	著者	書名
旧職員	篠原 茂	大江健三郎文学事典—全著作・年譜・文献完全ガイド
旧職員	川本 兼	「新」平和主義の論理
中22	原 三郎	大相撲名勝負物語
中33	三谷 嘉久満	馬
中41	播磨 規一	西さがみ庶民史録
中44・高2	中44・高2回同期会	八幡会員だより 第18号
高9	山西 明	曾我物語生成論
高11	高11回同期会	櫻の香 小田高11期生 傘寿記念文集
高20	青木 良一ほか	片岡日記 昭和編
高26	外郎 まちこ	闇を消す光探して、夢から贈り物、ういらうー東洋神秘思想と共に二千年
高28	安藤 嘉則	遺教経に学ぶ
高31	神保 郁夫	〈マンガ〉神道入門—日本の歴史に生きる八百万の神々、日本の神々の事典—神道祭祀と八百万の神々
高34	前多 秀彦	曲集「さくらんば ゆらん」
高39	秋山 幸也	見つける見分ける鳥の本
高56	鳥居 紗也子	小田原の文化財
高	迎 ラミン (本名非公開)	声の優

## 令和3年度 入試結果と進路状況

(4年5月1日現在)

## 大学別合格者数

## 【国立大学】

合格者合計64名  
(現役生55名、既卒生9名)

大学名	合計	内 現役
北海道	1	1
弘前	0	0
岩手	0	0
東北	2	2
秋田	0	0
山形	1	1
茨城	1	0
筑波	3	3
宇都宮	0	0
群馬	1	1
埼玉	0	0
千葉	1	1
お茶の水女子	0	0
電気通信	0	0
東京	1	1
東京医科歯科	2	2
東京海洋	1	1
東京外国语	2	2
東京学芸	1	1
東京芸術	4	2
東京工業	3	3
東京農工	3	2
一橋	1	1
横浜国大	17	15
新潟	0	0
富山	1	1
金沢	1	1
山梨	0	0
信州	1	1
静岡	6	4
浜松医科	0	0
名古屋	1	1
名古屋工業	0	0
三重	1	1
京都工芸繊維	1	1
大阪	1	1
神戸	0	0
奈良教育	1	1
島根	2	2
山口	0	0
九州	0	0
長崎	1	1
大分	1	0
宮崎	1	1
琉球	0	0

\*合格者が0名の大学は、前年度、または前々年度に合格実績があります。

## 【公立大学】

合格者合計26名  
(現役生23名、既卒生3名)

大学名	合計	内 現役
札幌医科大学	1	0
国際教養	0	0
会津	0	0
福島県立医科大学	1	0
高崎経済	0	0
東京都立	7	7
神奈川県立保健福祉	2	2
横浜市立	11	11
石川県立	0	0
金沢美術工芸	0	0
都留文科	0	0
静岡県立	3	2
静岡文化芸術	1	1
名古屋市立	0	0
大阪市立	0	0
大阪府立	0	0
奈良県立	0	0
島根県立	0	0
広島市立	0	0

## 【私立大学】

合格者合計965名  
(現役生821名、既卒生144名)

大学名	合計	内 現役
酪農学園	0	0
東北医科大学	0	0
国際医療福祉	10	10
埼玉医科大学	0	0
文教	0	0
江戸川	0	0
神田外語	2	2
千葉工業	1	1
青山学院	40	30
亜細亜	0	0
跡見学園女子	0	0
桜美林	5	5
大妻女子	3	3
嘉悦	0	0
学習院	18	17
学習院女子	1	1
共立女子	0	0
杏林	4	3
北里	20	17
慶應義塾	19	16
工学院	19	14
国學院	18	17
国際基督教	1	1
国士館	2	1
駒澤	17	17
駒沢女子	0	0
産業能率	2	2
昭和	1	1
昭和女子	11	8

## 大学名 合計 内 現役

昭和薬科	6	4
芝浦工業	19	14
白梅学園	0	0
順天堂	2	2
上智	17	17
女子美術	4	3
実践女子	1	1
成蹊	16	13
成城	15	14
専修	28	25
聖心女子	0	0
清泉女子	0	0
聖路加国際	3	3
創価	1	0
大正	2	2
大東文化	2	1
拓殖	2	1
玉川	5	5
多摩美術	5	5
中央	59	54
津田塾	2	2
帝京	6	6
帝京平成	1	1
東海	37	31
東京医科	1	1
東京医療保健	0	0
東京家政	0	0
東京経済	1	0
東京工科	8	7
東京工芸	7	6
東京歯科	1	1
東京女子	3	2
東京女子医科	1	1
東京慈恵会医科	2	2
東京造形	2	2
東京電機	4	2
東京都立	22	15
東京農業	19	17
東京薬科	5	5
東京理科	29	25
東邦	1	0
東洋	28	25
東洋学園	0	0
日本体育	0	0
日本本	45	34
日本獣医生命科学	2	2
日本女子	10	9
法政	57	47
星薬科	1	1
武蔵	2	1
武藏野	10	7
武藏野音楽	1	1
武藏野美術	5	2
明治	90	77
明治学院	31	28

## 大学名 合計 内 現役

明治薬科	0	0
明星	8	7
目白	2	2
立教	25	21
立正	2	2
和光	1	1
早稲田	37	34
麻布	12	10
神奈川	24	20
神奈川工科	7	5
鎌倉女子	3	3
関東学院	6	5
相模女子	1	1
松蔭	0	0
湘南医療	0	0
湘南工科	1	1
洗足学園音楽	1	1
桐蔭横浜	1	1
東洋英和女学院	0	0
フェリス女学院	1	0
横浜薬科	6	6
金沢工業	1	0
中京	0	0
名古屋造形	0	0
名城	0	0
京都芸術	0	0
京都産業	0	0
皇學館	1	1
同志社	1	1
佛教	1	1
立命館	2	2
龍谷	2	2
関西	1	1
近畿	1	1
立命館アジア太平洋	0	0
湘南鎌倉医療	1	1
東京国際工科専門職	1	1

## 【短期大学】

合格者合計2名  
(現役生2名、既卒生0名)

大学名	合計	内 現役
東京歯科	1	1
共立女子	1	1
鎌倉女子	0	0

## 校種別の進路

計

4年制大学	273
短期大学	0
専門学校等	1
留学(準備)	0
就職	0
進学準備・その他	39
合計	313



## ★小田高祭 6月18日(土) 19日(日)



今年度の小田高祭は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの拡大情勢を鑑みて、安全優先をしつつも、事前申込のあった生徒の家族1名の来場を許可して実施された。昨年度の経験を活かして、準備期間や練習、当日の発表、片づけなど、すべての場面で三密を避け、毎日の健康観察や検温、消毒、部屋の換気など徹底した感染防止策を講じて行った。廊下での待機列をなくすため、事前にプログラムNoを登録して座席数を確認する形式をとった。

18日の開会式は、3年次生のみ体育館に集まり、2・1年次生は待機場所でのオンライン中継で実施した。開幕に先立ち吹奏楽部のファンファーレが体育館で演奏された。その後、一定の時間差をつけて、2・3年次生の劇発表、文化部の発表が行われた。会議室では1年次生の折鶴アートの展示が行われた。

19日の閉幕式でも、3年次生のみ体育館で参加し、2・1年次生は教室に分散して体育館の映像を見る形で実施された。その後、運営スタッフによる後夜祭が体育館で行われ、抽選でチケットを得た生徒が体育館や視聴覚室に集まり、昨年度にはない盛り上がりを見せた。小田高祭大賞の各賞は、次の通り。

小田高祭大賞	1位	2位	3位
1年 折り鶴アート	1-5	1-4	1-7
2年 劇	2-6	2-2	2-4
3年 劇	3-8	3-3	3-7
部活動	吹奏楽部	ダンス部	
Tシャツ	吹奏楽部	2-2	1-9
看板	3-3		
垂れ幕	2-1		
教室装飾	3-3		3-7

## 体 育 祭

9月15日(木)

今年度の体育祭は、4年ぶりに小田原市城山陸上競技場で行われました。残暑厳しい予行練習とは変わり、本番は涼しくらいの気候の元、8競技、2演目が予定通り実施されました。マスク着用、ソーシャルディスタンスをとっての8日間の応援合戦練習では、2年次生が中心に団をまとめる姿がありました。お手製のお面を使用しての騎馬戦が盛り上りました。文化祭同様に、生徒の家族1名の合計で650名を超える保護者の方の来場をいただきました。競技場から場所を移して行われた3年ぶりの後夜祭では、「借り物競走」「フォークダンス」が行われました。各賞のは以下の通り。

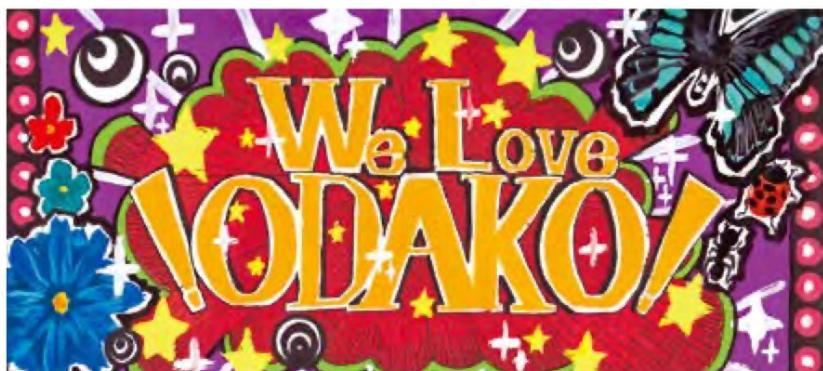
	1位	2位	3位
競技の部	白団	青団	黒団
横断幕の部	桃団		
Tシャツの部	桃団		
応援合戦	白団		



**部活動の記録（令和3年 後期～令和4年 前期）**



創立明治33年(1900)  
開校明治34年(1901)  
神奈川県第二中学校



## 第34号

神奈川県立小田原高等学校  
同窓会 櫻友会連絡先  
電話・FAX. 0465-20-3281  
メールアドレス  
kenyukai@odako.org  
私書箱 〒250-8691  
日本郵便(株)小田原郵便局  
私書箱15号  
県立小田原高等学校同窓会  
ホームページ <https://odako.org>

タイトルイラスト：磯谷優希さん（高67）在校中の作品



小田原高校同窓会 櫻友会ホームページをご活用ください

/click

小田原高校同窓会

検索



◆携帯・スマホから  
住所変更等を連絡できます

メールは [kenyukai@odako.org](mailto:kenyukai@odako.org)

同期会、地域・職域同窓会、部OB会などの開催案内をホームページに掲載し、広く参加を呼びかけることができます。

ホームカミングデーの開催の様子をはじめ、同窓会の活動や小田高の写真をご覧になれます。

ホームページから同窓会に住所変更を連絡したり、各種問い合わせをすることができます。

「八幡山」の原稿も募集中です。会費納入もお忘れなく!!